

かるまい

議会だより

No.246

令和8年7月22日発行

主な内容

かるまい議会だより懇談会

- 6月定例会のあらまし 2
- 6月定例会一般質問に7人登壇 4
- 委員会等活動報告 6
- インタビュー「かるまい町に住んでみて」 14

今回の取材は 軽米小学校議会学習

6月12日、軽米小学校6年生が議会学習を行いました。児童らは実際に議席に座り、議会の役割について学びました。その後は議場内を見学し、普段触れることのできない放送機器や議長席に興味津々でした。
(関連記事 P15)



5月13日、晴山地区（晴山公民館）

かるまい議会だより懇談会は、5月12日はかるまい文化交流センター宇漢米館（参加者11人）、翌13日は晴山公民館（参加者4人）で、14日は小軽米生活改善センター（参加者

23人）でそれぞれ開催しました。懇談会は、議会だよりに限らず、町政のこと、議会活動のことなど、何でもありということが発言してもらいました。

町民の皆さんからの質問や提言の一部は、6月定例会で町長に回答を求めましたのでその内容を紹介します。この懇談会は、議会だよりの発行に合わせ開催する予定です。

3地区に38人が参加

ぎかいの視点

住民代表として 町全体の利益を

議員は、住民の直接選挙で選ばれる特別職の公務員。特定の地域や団体だけでなく、町全体の利益を考える責任がある。そのため、住民全体の代表として、地域の実情や課題を把握することは、重要な役割であり、責任でもある。

これからも町民と議会とのキャッチボールを続けていく。

町議会では、かるまい議会だより懇談会（議会報編集常任委員会主催）を5月12日から14日にかけて軽米、晴山、小軽米の3地区で初めて開催しました。町議会は、年4回、かるまい議会だよりを発行し、定例会の審議内容や一般質問、予算・決算、議員活動等を町民に伝える役

割があります。しかし、どれだけ町民のニーズに応えられているのか、議会の自己満足で終わってはいないか。直接、町民との懇談を通して、議会報としての役割を今一度見つめ直し、町民の期待に応えられる議会だよりの編集に取り組みます。

町民と議会とのキャッチボール 町民のニーズ期待に 応える議会だより



5月12日、軽米地区（かるまい文化交流センター宇漢米館）



5月14日、小軽米地区（小軽米生活改善センター）

町議会定例会の様子はかるまいテレビで放送されています。

詳しい放送日時は、町議会ホームページ、かるまいニュース「JOURNAL」のほか、町公式 LINE より発信しています。

LINE は、下記二次元コードを読み取り、友達追加ボタンを押すことで簡単に登録可能です。ぜひ、ご利用ください！！

町公式 LINE



町議会ホームページ



町民からの声 町からの答え

Q 防災マップの説明会（勉強会）の開催を。

A 各地区で要望があれば相談してほしい。

Q 自主防災組織連絡協議会の設立を。

A 自主防災組織の結成状況は、89行政区のうち21組織で、現在、全地区組織に向け進めており、組織結成が進んだ段階で意見を聞き検討していく。

Q 町民座談会の開催を。

A 町民の意見を聴く機会は、区長会議、区長を通じた地域課題等、意見箱、町民意識調査などで広く行っている。懇談会は参加者減もあるが、今後必要性や実施手法を検討。

Q 防犯カメラの設置支援を。

A 町で防犯カメラを設置する予定はないが、現地を確認し、防

A 個人への補助制度はないが、行政区で設置する場合、地域活動支援事業費補助金を活用した事例もあり、検討してほしい。

Q ボッチャの用具購入補助は。

A 地域活動支援事業費補助金の活用が可能。

Q スクールバス運転手の安全管理は。

A 運転手には健康診断の受診、運行前後のアルコールチェックと毎朝の朝礼、対面対話により確認を行うなど、安全面には十分配慮して運行している。

Q 不法投棄対策で防犯カメラを設置して。

A 町で防犯カメラを設置する予定はないが、現地を確認し、防

止看板の設置や防犯協会等と協力してパトロールを実施している。

Q ふるさと納税の使い道は。

A 一例として、児童クラブ運営費や観光協会補助などがあるが、実績は町のホームページで公表している。

議会からの答え

Q 定例会での特別委員会をかるまいテレビで放送してほしい。

A 特別委員会では、詳細な審議が行われ、町民にも広くお知らせしたい考えはある。今後、予算確保も含め、議会内で前向きに検討したい。

Q 本会議や一般質問のテレビ放送の日時の周知を。

A 放送日程は、定例会終了後に町議会ホームページに掲載しているほか、かるまいニュース「JOURNAL」でもお知らせしている。

Q 行政と議会の役割の区分が分からない。例えば、総合計画や総合戦略などの進捗状況を議会から町長に質問してほしい。

A 一般質問や特別委員会、常任委員会での事務調査などで、積極的に活動していく。

Q 議員の先進地視察研修などの報告会を開催してほしい。

A 研修を実施した常任（特別）委員会がそれぞれ企画し、報告会を開催し、町民と共有し、町政に反映していきたい。

6月定例会のあらまし

6月（第22回）定例会は、6月1日から9日までの9日間の会期で開かれました。招集日の1日は、町長の政務報告及び3議案の提案説明、2日は議案思考で休会、3、4日は一般質問に7議員が登壇（質問内容等は6、13ページに掲載）のあと、2議案の追加提案があり、全5議案の審議は、令和8年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会（西館徳松委員長）に付託されました。議案審議は、5日で終了し、9日に最終本会議で全議案とも原案どおり可決されました。

子ども子育て 支援金を新設



議案第1号は、地方税法等が改正され、令和8年4月1日に施行されるに伴い、町税条例等の一部改正について、専決処分を行ったものです。

子ども子育て支援金の税率は、所得割0.3%、均等割は加入者1人当たり1200円（18歳未満は全額軽減）、平等割は1世帯当たり800円、負担限度額は3万円です。

主な内容として、固定資産税の免税点の見直しでは、現行20万円の家の免税点を30万円に、現行150万円の償却資産の免税点を180万円に引き上げます。軽自動車税環境

税の目的から逸脱

江刺家 静子議員

子ども子育て支援金を国民健康保険税に上乗せすることは、医療保険を少子高齢化対策に流用することになり、税の目的から逸脱するものである。

反対討論

～ 町長の主な政務報告 ～

○物価高騰対策

全町民対象の一人1万2000円の商品券給付を5月末までにおおむね完了。

○災害復旧事業

昨年11月の豪雨で被災した農地と農業用施設の工事は5月完成。

○クマ対策

鳥獣被害対策実施隊は、現在30人。うち職員1人。

○宇漢米館

3年目で来館者数12万人に達する。

○公共交通

廃止3路線は4月から代替手段により順調に運行している。

○若者定住住宅

賃貸用住宅2棟は年度内完成予定。

○保育施設

6月1日現在、花のまち軽米こども園77人、小軽米保育園22人、晴山保育園24人が通園。3園全体で3歳児21人、4歳児28人、5歳児22人。

○高齢化率

45.5%。（65歳以上）

○畜産振興

子牛市場で85万円で取引され、昨年より30万円増。

○農業担い手

新規就農者2人に支援。

○チューリップフェスティバル

イベント中の来園者は約1万9000人で前年並み。

○祝金創設

小学校入学時に4万円、中学校入学時に5万円の支給開始。



次は 7 議員の一般質問



タブレットは様々な場面で学習効果を高めるために利用されます

議案第2号は、一般会計補正予算（第1号）で、歳入歳出予算の総額に2287万円を追加し、総額を73億787万円とするものです。

主な歳出は、伝送路移転業務委託料676万円で、電柱の移設などに伴う光ケーブルの移転業務にかかる予算です。

2287万円を補正
伝送路移転に676万円
タブレット購入費が1.5倍に

議案第3号は、下水道事業会計補正予算（第1号）です。一般県道二戸軽米線の工事に伴い、下水道の建設改良費の増額です。

県道工事で下水道移転

また、スクールバスの更新に伴い、これまでにスクールバスとして使用していたバスを町民バスの予備車にするための表示の印刷代、車検料、いわて暮らし応援事業費補助金を活用しての若者U・Iターン支援金及び地方就職支援金などです。

このほか、老人福祉センターのボイラー修繕のものです。

議案第4号は、防災行政無線操作卓等更新工事の請負契約の締結です。

契約金額は、9130万円、請負者は、盛岡市の北日本通信株式会社です。

スクールバスを更新



議案第5号は、児童生徒の通学用のスクールバス購入に係る財産取得です。

29人乗りのマイクロバスで取得予定価格は1131万円、買入れ先は軽米町の高常自動車工業株式会社です。

平成26年2月購入のマイクロバスを更新するものです。

《6月定例会》

採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
議案①	町税条例等の一部改正の専決処分の承認	承認 (賛成多数)
議案②	令和8年度軽米町一般会計補正予算（第1号） [2,286万6千円を増額し、総額73億786万6千円]	可決 (全員賛成)
議案③	令和8年度軽米町下水道事業会計補正予算（第1号） [資本的収入を4,010万円増額し、総額1億980万1千円] [資本的支出を6,800万円増額し、総額1億7,266万5千円]	
議案④	防災行政無線操作卓等更新工事の請負契約の締結 [防災行政無線操作卓等更新工事の請負契約を締結]	
議案⑤	財産の取得（スクールバス） [小中学校の児童生徒の通学のため、スクールバスを買入れ]	

一般質問

一般質問とは

- ・ 定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・ 質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・ 質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・ 時間の制限は 60 分です



一般質問の方式は①一括質問一括答弁方式と②一問一答方式の二通りあり、各議員の選択により行います。制限時間はどちらも 60 分です。

①一括質問一括答弁方式

議員が質問をすべて一括して質問し、その後、町長らがその質問について一括して答弁を行います。質問回数は再々質問までの 3 回です。

②一問一答方式

一つの質問事項を質問した後、町長らがその質問事項について答弁を行い、その後に次の項目を質問します。すべての質問を一問一答で行います。質問回数は無制限です。



・ 小軽米地区圃場整備の推進状況は

・ 地域おこし協力隊としてハンターの募集を
・ 特定地域づくり事業協同組合の検討状況は



・ 子育て環境日本一を目指すまちづくりについて
・ 空き家問題に対する町の考えは

・ 米のコスト指標に関する町長の考えは



・ 町の将来像の実現のためには
・ 若者の出会い創出のため何を
・ 職員不足を解消するために

・ ガバメントハンターの早急な採用を



・ 軽米児童クラブの利用料引き下げと運営改善
・ 医療確保事業と奨学金返還支援
・ エアコン設置と補聴器購入補助

町議会HP
二次元コード▼



掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。



たなか ゆうすけ
田中 祐典

小軽米地区圃場整備

問

現在の推進状況は

町長

県の担当者との打ち合せや、
担い手対象のアンケートを実施



圃場整備を行うことで、作業の効率化、コストと労働時間の削減、水田の汎用化というメリットがあります

問

小軽米地区の
圃場整備は、圃

場の集積により作業効率を向上させ、担い手の経営規模拡大につながる重要な施策だと考えられる。現在の推進状況は。

【町長】 小軽米地区は道路幅員が狭く車両や農業機械のすれ違いが出来ない状況にある中で、担い手が管理、作付けする農地は分散し、作業効率の悪い状況となっている。しかし、農業従事者の減少、

高齢化が進む中、担い手の経営面積は増加傾向であり、作業の省力化とコスト低減を推進する農業技術等による生産性の高い農業に取り組むことができるよう、生産基盤の整備を進めていくことが有効な手法であると考えている。町では、小軽米地区の圃場整備を進めるため、昨年5月に県の担当者と事業採択に向けた今後の取り組みや進め方について打ち合せを行い、同年7月

には地元の代表者と合意形成に向けた今後の進め方について協議した。その後、8月、12月には、担い手の方々と圃場整備を実践するメリットや課題などを共有するとともに、法人化設立のメリットや将来の作付作物や担い手を明確化した営農ビジョンの作成方法などについて理解を深めた。また、1月に実施した担い手を対象としたアンケートにおいて、全員が圃場整備事業に参加したいとの意向を示している。

今後については、地区説明会などを通じ、事業内容を丁寧に説明し、関係者の不安を解消し意識を醸成するとともに、営農ビジョンの作成支援や権利関係の調査などを進め、圃場整備事業が早期に進

むよう事業推進に努める。

【副町長】 圃場整備は町の重要課題と認識しており、国も前向きな状況になっている。地権者の同意や登記整理などの条件を進めながら、先進地視察や説明会を行い、できるだけ早期に事業着手できるように進めていく。

問

圃場整備事業
の今後の進め方
と説明会開催時期につ
いて伺う。



地域おこし協力隊

問 鳥獣ハンターの募集は

町長 ハンターの育成を視野に



問 有害鳥獣対策ハンターを地域おこし協力隊として募集する考えはないか。

町長 他自治体において協力隊員が捕獲技術を学び活躍している事例もある。町としても有害鳥獣被害から農林業と住民の安全な暮らしを守るために新たな担い手の確保が急務である。協力隊制度は、持続可能な鳥獣被害対策の構築、関係人口の拡大や移住定住の促進において非常に有効な手段であり有害鳥獣対策ハンターの育成を視野に入れた募集・受け入れを検討する。

問 持続可能な鳥獣被害対策のためにも、地域おこし協力隊としてハンター志望者を募集、3年間で育成し、能力に応じ専門員やガバメントハンターとして雇用する考えはないか再度伺う。

副町長 ハンターを年間で雇用する場合、鳥獣被害が発生する時期とそつでない時期におけるそれぞれの活動方法や、狩猟免許取得後の銃の使用について、しっかりと把握する必要がある。他自治体の事例などの情報収集を行い、募集について検討する。



岩手県内では、盛岡市、岩手町、一戸町で地域おこし協力隊として募集を行い、それぞれの形で活動を実施しています

特定地域づくり事業協同組合

問 現在の町の検討状況は

町長 関係者への調査等を実施

問 特定地域づくり事業協同組合制度の検討状況を伺う。

町長 本制度を有効性のあるものとするためには核となる地元事業者の確保と年間を通じた仕事の組み合わせや専門機関との緊密な連携が不可欠。今後は関係団体や農林業者、製造業者等に対して制度の周知・啓発やニーズ調査を実施し参加者の掘り起こしを進め、組合設立に向け機運が高まった際には設立に向けた伴走支援を行っていききたい。



この制度を活用することで若者・移住者の定住促進、人材不足解消に繋がります
(出典：総務省『特定地域づくり事業協同組合制度』リーフレット)



たむら
田村 せつ

子育て環境日本一を目指すまちづくり

問

物価高騰での給食・材料費は

教育長

年度途中、補正予算により対処

問

子育て世代包括支援センター

「めぐかる」と今年度新設される「こども家庭センター」はどことが違うのか。

【町長】「めぐかる」

は、妊娠期から高校生までの子どもの心身の健康と発達支援を行い、総合的な相談や乳幼児の健診、子育て教室の充実に取り組んできた。この子育て世代包括支援センター「めぐかる」と、虐待対応等を担う児童福祉部門の機能を一体化し、新たに準備を進めているのが「こども家庭センター」となる。設置を契機に全ての子育て世代に対する包括的な支援体制の構築に取り組んでいく。

問

物価高騰による給食のまかない材料費に影響は。

い材料費に影響は。

【町長】 全国的な米価

高騰により、ここ2年は精米価格が想定外の上昇。年度途中、補正予算で対処した。

問

軽米は雑穀の町。米飯には使

用しているようだが、副食メニューも雑穀を使用したメニューを提供してはどうか。

【教育長】 メニュー検討の際に意見を踏まえ、献立に反映できるか相談していく。

問

子育て世代の保護者は、子どもの遊び場を望んでいる。安心・安全な遊び場の整備は。

【副町長】 今年度は先進的な施設を運営している先への視察を検討している。全大候型まで、子どもたちが飽きずに楽しめるような施設整備に向け、調査している。

空き家問題

問

町としての考え方は

町長

利活用が促進されるように

問

軽米町にも空き家が増えてきた。このことについて町としてどのように考えるのか。

【町長】 平成26年度から2年かけて空き家を調査した。その後、追加調査を行っていない

が増加していると考える。空き家の利活用をミッションとした地域おこし協力隊を募集している。空き家バンク制度の周知等と併せて、空き家の利活用が促進されるような取り組みを考えていく。



空き家は、倒壊や部材の落下、害虫や悪臭、近隣トラブルなどさまざまなリスクを引き起こす原因となります（写真はイメージ）

コメ生産農家の支援

問

米のコスト指標の考えは

町長

耕作放棄地の拡大を招く恐れが



にしだて 西館 とくまつ 徳松

問

令和8年度の
生産者米価が大
幅に下落する一方で、



深刻化する人手不足と高齢化に対応するため、農業用ドローンや自動運転トラクターなどの最先端技術導入に対する補助を行い、少ない人員でも安定した生産を行える環境を整備することが大切です

4月7日に食料システム法に基づき生産費を示す「米のコスト指標」が米穀機構から全国平均で公表されており、令和8年4月時点の生産費は玄米1キログラム当たり（税込み）で342・3円、対前年度比3・4%増、玄米30キログラム当たり1万269円、精米5キログラム当たり換算

で2816円となつて
いることを踏まえ、町
長の考えを伺う。

【町長】 公表された「米のコスト指標」が示す玄米30キログラム当たり1万269円という数字は、米の生産に莫大なコストがかかっていることを如実に物語っている。また、精米5キログラム当たり換算して2816円という生産費は、これまでの市場価格からすれば非常に重い数字であ

問

様々な費用が
高騰し続ける中

り、これがコスト割れを起こせば、担い手不足が懸念されている。今、耕作放棄地の拡大を招く恐れが極めて高いと考えられる。令和7年度は持続可能な経営を維持するための緊急的な支援として「農業者等物価高騰対策緊急支援金」の給付、スマート農業の導入補助を実施している。営農の継続が困難になる事態を防ぐため国や県の農業政策の動向、新たな基準を明確に捉えながら、県や農協等の関係機関と緊密に連携し、地域の実情に応じた生産コストの把握に努めるとともに、必要に応じて地域特性を考慮し、財源の確保も含めて支援策を検討していく。

「米のコスト指標」の詳細については、それぞれ下記の二次元コードからご確認ください。

農林水産省HP



米穀機構HP



公表された「米のコスト指標」は大規模農家が基準となっており、条件が厳しい中山間地の農家の実情に合っていない。また、円安や中東情勢によるさらなるコスト上昇も心配される。この厳しい現状を踏まえ、改めて町長の考えを伺う。

【町長】 生産コストが上昇する一方で米価が下落し収益性が悪化している状況を踏まえ、今後とも事態を注視しつつ適切に対応してい



なかむら まさし
中村 正志

総合発展計画後期計画

問 町の将来像の実現のためには

町長 交流人口を5年後に年間30万人に

問 総合発展計画後期計画の町の将来像を実現するためには。

【町長】 交流人口を5年後の令和12年度は年間30万人とする。交流人口の定義は、観光入込客数と町内施設の利用者数の合計。

問 交流人口の拡大のために、道の駅設置の考えは。

【町長】 提案のあった「ミル・みるハウス」の道の駅の可能性はあるが、今後、交通量や観光資源の動向を注視しつつ、先進事例など



ミル・みるハウスでは、特産品の購入や、レストランも併設されており、地域の方はもちろん、観光客にも人気の施設です。

調査研究を深めたい。
問 ハイキューファンでにぎわっている町だが、町

人口ビジョン・総合戦略

問 若者の出会い創出のために何を

町長 若い人が集まる場づくりから始める

問 第3期人口ビジョン・総合戦略で出生数を5年間で175人と定めた。子育て支援策の成果は。

【町長】 これまでの支援策は効果には時間を

問 若者の出会い創出の町独自の事業は。

【町長】 結婚について

の支援策を再考する考えはないか。
【町長】 現時点で、町が主体となつての取り

組みは難しいが、今後、出版社等に配慮しながら、将来的な活用方法を検討していく。



問 職員不足を解消するために

町長 初任給を岩手県と同水準に改定した

問 現状の職員不足を解消するためには。

【町長】 8年度から初任給を岩手県と同水準

に改定した。今後は、軽米高校生等へのPR活動、通年採用の導入や試験内容の見直しなど、受験しやすい環境

を整える。また採用職員が、町から奨学金を借りている場合、その返済を支援する制度を検討している。



鳥獣被害対策

問

ガバメントハンターの採用を

町長

有効な手段の一つ



問

鳥獣被害対策
隊の人員確保に
ついて、3月定例会の
同僚議員の質問に町長
は「隊員の高齢化が進
んでおり、担い手の確
保・育成が喫緊の課題」
と答弁しているが、隊
員の増員に向けた対応
は。

【町長】 昨年度、認定
農業者振興会の会員
に、狩猟免許試験の案
内を行ったところ、新
規に8名が取得し、そ
のうち3名が今年度か
ら新たな実施隊として
活動を開始している。
今後も、狩猟免許取得
等の支援事業を継続
し、関係団体等とも連
携しながら、将来を見
据えた担い手の確保・
育成に取り組んでい
く。

問

ガバメントハ
ンターが必ず必
要になると思う。獵友
会のリーダーとしても
会員の技術向上、知識

【町長】 担い手の確保
のみならず、移住定住
の観点からも有効な施
策であることから、先
進事例を調査・研究の
うえ、対応していく。

問

地域おこし協
力隊員を鳥獣駆
除隊員として特定して
募集してはいいかがか。

【町長】 迅速かつ効果
的な対策を行ううえで
有効な手段の1つであ
ると考えている。近隣
市町村で課題を共有し
ながら、導入について
調査、検討する。

問

3月定例会で
同僚議員が有害
鳥獣駆除対策について
提言し、町長は今後検
討すると答弁したが、
検討にとどまらず必ず
実行してほしいと考
える。令和8年度に新
しく作成する「軽米鳥
獣被害防止計画」にそ
の提言を取り入れれば、
町の鳥獣被害対策実
施隊の強化にもつなが
ると考えるがいかがか。

【町長】 このことも含
め前向きに検討する。



中山間地域における耕作放棄地の増加、高齢化・過疎化に伴う人間社会の生産活動の活力低下などにより鳥獣被害が増加しています

問

町民レベルで
の予防啓発と緊
急時対応マニュアルが
必要と思うがいかが
か。

【町長】 正しい知識を
持って冷静かつ迅速に
行動できるよう、出沒



えさしか しずこ
江刺家 静子

軽米児童クラブ

問

利用料引き下げと運営改善

町長

運営の質向上に努める

問

軽米児童クラブの利用状況、利用料、職員体制について伺う。

【町長】 利用登録者数は、合計50人。長期休暇のみの短期利用者もあり、今年の春休み期間は、17人の利用があった。利用料は、月額5000円で、同時利用の場合の2人目以降や、非課税の一人親世帯は5割を減免すること、子育て世帯の負担軽減に努めている。現在の職員体制は、放課後児童支援員の有資格者が常勤の3人となっている。児童が安全に過ごせるよう職員研修を積極的に進め、質向上に努める。

問

屋外遊びのための施設整備と看板の更新を。

【町長】 現状を把握しながら検討したい。

過疎地域持続的発展計画

問

医療の確保事業と奨学金返還支援

町長

定住に有効な施策と捉えている

問

医療の確保事業としての具体的な内容は。

【町長】 取り組みの一例として、県立軽米病院の外来看護の業務負担軽減につながるよう

【町長】 取り組みの一例として、県立軽米病院の外来看護の業務負担軽減につながるよう

【町長】 若者の就学支援について。

高齢者支援

問

エアコン設置と補聴器購入補助

町長

今後、高齢者福祉施策の中で検討

問

高齢者世帯にエアコン設置のための補助を。

【町長】 国や県の動向、他自治体の実施状況などを調査し、検討していく。

【町長】 当面は特定健診の機会をとらえた難聴の早期発見に向けた啓発や相談体制の充実に努める。補聴器購入補助制度は、今後の高齢者福祉施策の中で検討する。

問

加齢性難聴者に補聴器購入補助

【町長】 当面は特定健診の機会をとらえた難聴の早期発見に向けた啓発や相談体制の充実に努める。補聴器購入補助制度は、今後の高齢者福祉施策の中で検討する。



補聴器を使用することで、会話の聞き取りがスムーズになり、社会的な孤立や認知症のリスクを軽減することができます



町政調査会で意見交換会

地域おこし協力隊と課題を共有

町政調査会（茶屋隆会長）は、4月16日、地域おこし協力隊及び専門員の人たちとの意見交換会を開催しました。協力隊の現在の活動状況や課題、町への要望などの意見も紹介してもらいながら、議員からの質問にも答えるなど、相互の考

え方が共有できました。特に、他市町村から当町に来ていただいている隊員ならではの住居問題や生活上の課題も多数挙げられるなど、私たち議員も気がつかないことも多く、今後の活動に参考となる貴重な機会でした。



移住者が来る前提で空き家を町が管理すれば・・・
研修へ一緒に行って勉強したい！！



病院の利便性を高めてほしい！！
遊ぶ場所がない
クマ問題もあり、安心して外で遊ばせられない

産業建設常任委員会報告

東北唯一の馬市場に 北海道から九州まで

東北唯一の軽米重種馬・春市場（九戸畜産農業協同組合主催）が4月11日に軽米家畜市場で開催され、産業建設常任委員会（上山誠委員長）が視察しました。昭和23年に第1回が開催されて以来、今年で80回目を迎えています。同市場は東北で

本町だけの開催となっており、北海道から九州まで広い範囲から買い付けに訪れていました。以前は100頭を超える出品があったようですが、今年は42頭の出品にとどまり、当町からは0頭でした。そのほとんどは馬肉として流通されます。



馬のせり市の様子

「馬産地軽米」と言われて久しいですが、当町での飼育もままならない現状に寂しさを感じます。原状回復への道のりは厳しいようですが、多くの方の知恵を結集して、復活を願いたいものです。



軽米小学校 6 年生 29 人が

ぎじょうけんがく
議場見学に訪れました

軽米小学校 6 年生 29 人が、6 月 12 日、主権者教育の一環として、町議会の議場見学に訪れました。主権者教育は、子どもや若者が「社会の一員として政治や公共に参加できる力」を身につける教育のことです。

町議会は、上山誠議会運営委員長が、議会の仕組みや役割、議員の仕事などをスライドショーで説明し、和やかな雰囲気です。

解を深めてもらいました。

質問コーナーでは、「なぜ議員になろうと思ったのか」「議会がない日は何をしているのか」などに対し、議員が個々に答えました。

また、町に対しては、「ゲームセンターや遊具を」「町のイベントをもっと多く」など、元気で活発な意見が多く出されました。



席札に興味津々



発言台でポーズ



町議会クイズは全員が全問正解！

議会の主権者教育リーフレットとは、全国の地方議会（全国都道府県・市区町村議会議長会）が、子どもや若者に地方議会の役割や合意形成の重要性を伝えるために作成した啓発資料です！！



松浦議長から軽米小学校高室敬校長にリーフレットを配布しました

全国町村議会議長会では、議会の主権者教育リーフレットを作成し公開しています。

右側の二次元コードから特設サイトで読むことができます。



子どもにも政治への参加を

町議会では、子どもにも政治へ参加してほしいと、議会等について、漫画で説明したリーフレットを町内の各学



かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ④③



おばら 小原 亮 さん
北上市出身 (下新町・50代)
軽米町立軽米中学校校長



人事異動で

軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
昨年度の4月に人事異動で軽米中学校へ赴任することになり、現在は軽米町内で単身赴任をしています。

自然豊かで

温かい町

☞ 軽米町に来る前の印象、来てからの感想は？
軽米中学校への勤務は今回で2度目になります。20年以上前、二人の娘がまだ小さかった頃に家族4人で暮らしていました。当時と変わらず自然豊かで、地域の方々が本当に温かい町だと感じています。コンビニやドラッグストアができて便利になったことや、ゆるキャラが増えていたことに驚きました。

快適に学べる

環境づくりを

☞ 軽米町に望むことは？
現在、軽米中学校では157人の生徒が、地域の皆さんの温かい目守りのもと、毎日熱心に学習や部活動に励んでいます。ただ、校舎の老朽化が目立つようになり、学習環境が十分とは言えない状況にあります。特別教室へのエアコン設置など、子どもたちがより快適に学べる環境づくりをお願いしたいです。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和8年7月22日発行 (No. 246)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長 中村 田
副委員長 村中 斐
委員 田上 山
委員 茶屋

志 正
せ せ
祐 祐
典 典
康 康
誠 誠
隆 隆

軽米町議会だより
はこちらから

